

# 踏み跡 <My Mountains>

上越	平標山・仙ノ倉山登山せずの記	No.156
----	----------------	--------

この山行は残念ながら雨にたたられて、惜しくも尾根に取りつかぬうちに敗退した残念山行だった。同行は石関、ポケットの手帳にもなにもメモがないので、よほど残念だったに違いない。

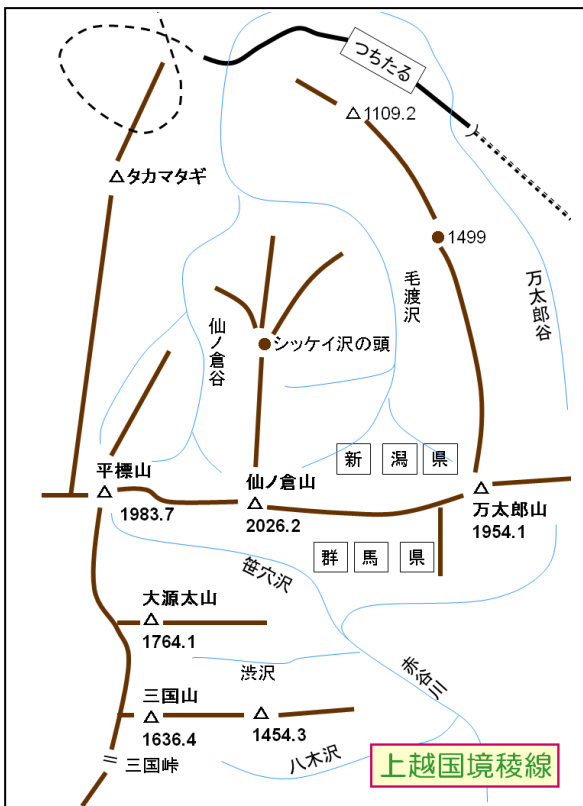
昭和45年8月1日  
いつもの夜行列車で出発（22時12分発）

昭和45年8月2日  
前回同様、土樽着は2時59分だったと思う。  
記録がないので、駄文の雑記とする。

上越線で清水トンネルをくぐり抜けると、トンネルに入っている間に谷川岳やその周辺の山々は視界から去ってしまう。

トンネルの中央部の信号所（単線時代の名残だろうか）の真上にあるのが茂倉岳。信号所の名前も茂倉信号所といったような記憶がある。

「クラ（岩）が茂る（沢山ある）」ということで茂倉岳と名が付いたに違いない。  
土合駅の北東に座するのが白毛門山。語彙の説明は全く必要としない美しい名前の山である。  
このあたりの山の名は、拾い出してみると美しい物が多い。  
六日町まで足をのばすと巻機山（まきはたやま）、いかにも織物の国らしい名前だ。  
仙ノ倉山も響の美しい山の名のひとつとして挙げられる。「千のクラ（沢山の岩）」が語源だろうか。あるいは「セン（滝）が沢山ある岩山」とも読むことができる。仙ノ倉山の北面にある西ゼン、東ゼンの沢の美しさは逸品と言われている。  
山名の持つ響きに魅せられて登ってみたいなあと思う山が沢山ある。  
そんなこともあってこの山を目指すことにしたのだが、悪天候に阻まれてしまった。



以上